

サイエンスキャンプ 2004 開催

サイエンスキャンプは、全国の高校生を対象にして、先進的なテーマに取り組む公的試験研究機関を会場として行われる科学技術体験合宿プログラムです。今年、産総研が行った5つのプログラムについて報告します。



北海道センター・地質調査総合センターでは、7月26～28日の3日間の日程で行われました。北海道センターの最先端の研究であるバイオテクノロジー、メタンハイドレートなどの室内見学につづき、野外プログラムが行われました。有珠山・昭和新山での実習では、未だ白煙を上げる2000年の噴火口近くで現地調査し、自然現象がもたらした災害の凄まじさの一端を体験、学習しました。また、室蘭市白鳥大橋に隣接している風力発電施設を見学しました。

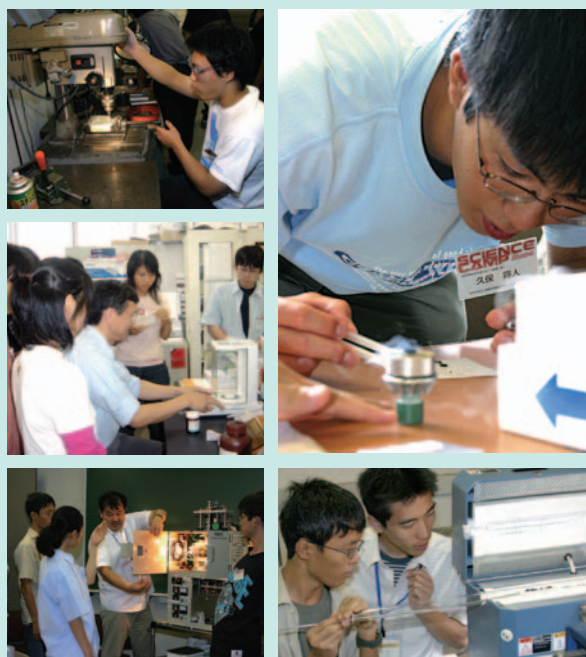
実際の研究現場での体験学習から、バイオ・環境にやさしいエネルギー・生きている地球・生命の歴史など生徒は皆それぞれに様々な興味を抱いたようです。

つくばセンターでは、8月24～26日の3日間の行程で3つのコースを開催しました。

「模型スターリングエンジンを作ってみよう」では、高温と低温の二つの温度(温度差)を与えると動く模型スターリングエンジンを組み立て、熱が動力に変わる仕組みなどを学びました。

「超伝導体を作ってみよう」では、作成した銅酸化物の高温超伝導体が本当に超伝導になるかを確認、さらに最新の結晶成長装置を使ってその超伝導体の単結晶が成長する様子を観察し、金属材料や超伝導現象への理解を深めました。

「タンパク質の不思議を学ぼう」では、タンパク質の精密な組成などを理解してもらうため、実際にオリジナルなミニサイズのタンパク質の設計合成、機器での分析などを行い、その不思議さを体験しました。



中部センターでは、8月24～26日の3日間の日程で、近い将来、省エネルギーに大いに貢献することになる「調光ガラス」に関する研究について学びました。参加者は、実際に「調光ガラス」を真空下で作製して、電子顕微鏡を操作して観察することにより、最新テクノロジーの研究の一端に触れました。

その他、光電子分光装置、質量分析装置の見学や、「調光ガラスの着色と光学測定」、「調光ガラス表面の電子顕微鏡観察と組成分析」の講義など、興味深く耳を傾ける様子が印象的でした。

産総研展示館「サイエンス・スクエア つくば」 いよいよ オープン

2004年10月1日(金)、産総研の最新の研究成果を一般の方々にいち早くご紹介するためのショールームともいえるべき「サイエンス・スクエア つくば」がオープンいたしました。

この施設では大きく3つにわけられたゾーンで、安全・安心で快適な社会をつくるために活かされる産総研の技術を、見て・触れて・体験していただけます。つくばを訪れる機会がございましたら、ぜひお立ち寄りください。

● エントランスゾーン

展示施設への導入映像空間として、産総研の研究テーマと最新のトピックス情報などを大型映像で紹介します。



● プレゼンテーションゾーン

研究開発における記録映像や成果などを通して、産総研の研究分野や理念、過去の実績やミッションなどについて、プレゼンテーションをおこないます。

● 研究紹介展示ゾーン

開発技術、データなどの成果全般を、実際に見る、触れるなど、五感をとおして体験いただけます。

現在公開中のテーマは次のようなものです。

- 卓上単結晶育成装置
- マイクロファクトリー
- 合体変形ロボット
- Viz View
- CoBit
- 透明太陽電池 他



◆ 開館日：月曜日～金曜日(土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始は休館です)

◆ 開館時間：午前9時30分～午後5時

◆ お問い合わせ：産総研 広報部 展示業務室

TEL：029-862-6215 FAX：029-862-6212 Email：pr-info@m.aist.go.jp

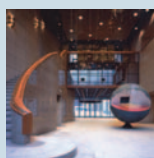
● 従来からの展示施設「地質標本館」「JISパビリオン」にも、どうぞいらしてください。

地質標本館

日本で唯一の地学専門の総合博物館です。4つに分けられたブースでは、地質標本だけでなく、地学全般と地球の歴史・メカニズム、人間との関わりについて、わかりやすく展示を行っています。

お問い合わせ：産総研 地質標本館

TEL：029-861-3750



JIS パビリオン

社会生活をより快適に過ごすために必要な、工業標準化の意義や概要をわかりやすくご覧いただくために、「見て、聴いて、触れて、体験していただくコーナー」をご用意しています。

お問い合わせ：産総研 産学官連携部門 工業標準部

TEL：029-862-6221

